令和２年度第２回徳山中央病院地域連絡協議会　議事概要

【書面開催】

今回も第１回と同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面により開催した。

【次第】

報告資料

（１）．徳山中央病院の現状報告

（２）．令和元年度および令和２年度年末年始救急外来状況

（３）．新型コロナウイルス感染症の院内状況について

【出席者】

又野　浩美（山口県周南健康福祉センター所長）
山本　英樹（周南市役所健康医療部長）
津永　長門（徳山医師会会長）
蔵田　聡（徳山歯科医師会会長）
西村　正広（徳山薬剤師会会長）
山中　清治（周南市立新南陽市民病院事務局長）
西岡　浩司（徳山医師会病院事務長）
三浦　哲哉（周南市社会福祉協議会事務局長）
進賀　研次郎（周南市社会福祉事業団事務局次長）
田中　義啓（周南市自治会連合会会長）
小林　武生（徳山大学福祉情報学部長）
那須　誉人（JCHO 徳山中央病院院長）
沼　文隆（JCHO 徳山中央病院副院長）
三井　博（JCHO 徳山中央病院副院長）
嘉数　和俊（JCHO 徳山中央病院事務部長）
小阪　マリ子（JCHO 徳山中央病院看護部長）

【議題概要】

１）徳山中央病院の現状報告

令和２年度４月～1 月の診療実績を令和元年度、平成 30 年度と比較しながら報告した。

２）令和元年度および令和２年度年末年始救急外来状況

令和元年度および令和２年度年末年始の救急外来状況、こども QQ の状況について報告した。

年末年始９日間の救急外来患者数は 455 人、こども QQ 受診者数が 80 人。

年末年始９日間の救急車は 91 台、救急外来受診後入院患者数は 66 人。

３）新型コロナウイルス感染症の院内状況について

令和２年度４月～1 月の感染症病床の状況および帰国者・接触者、発熱外来の状況について報告した。

４）各委員からの要望等について

（質問）

１年以上のコロナ禍で、ドクター、ナースをはじめとする専門職、また職員のバーンアウトを懸念される状況です。貴院の対策がありましたら、ご教授ください。

（回答）

新型コロナウイルス感染症への対応や日々の感染対策が長期化する中で、誰もが心理的・社会的ストレスを受けています。

当院では、職員の心理的な負担軽減のため、臨床心理士による職員向けのメンタルヘルス窓口を設置して対応することにより、職員のモチベーションの維持をサポートしています。

（質問）

経営状況への悪影響が見られます。この状況に対して、貴院として行政に訴えていること、また私どもが協力できることがあればご教授ください。

（回答）

新型コロナウイルス感染拡大のため、前年度と比較すると、患者数が減少しております。これに伴う収益減に対して、行政から、ベッド確保（covid-19 疑い患者分）の為の補償や新型コロナウイルス感染患者への医療政策として、入院時の診療報酬引き上げ、対応した医師、看護師等への特別手当の確保をしていただきました。

また、山口県においては、新型コロナウイルス感染者が日々報告されております。今後、感染「第４波」が懸念されております。今一度、職場関係者への感染防止対策の周知徹底をよろしくお願いいたします。

以上